

神戸百店会 だより



★ヌーベルサノへがオープンします。

元町1番街のサノへが本店を改装中なのは、ご存知だと思います。今、飯店舗で営業中、本店は12月初旬に三階建てのビルになってお目見えするわけですが、ひと足先の10月9日同じ元町1番街にヌーベルサノへもオープンします。ページと茶を基調にしたヌーベ



ルサノへは婦人服、紳士もののハイブレードなどのを、そして本店はカジユアルものと洋品雑貨を中心としたどちらもある風の店づくり。「ショッピングの楽しさを味わってもらえるような店づくりをしたい」

とは菅原事務のお話。ヌーベルサノへの二階で10月22・23日(予定)春夏もののキヤピタルショーも行なわれます。トアロードのクレージュ店と並んでハイモードのサノへが三店になるんですから、うれしいですね。

★優雅な雰囲気はどうぞ毛皮ショーへの誘い
秋もいよいよ本番。大人のおしゃれができる素敵な神戸の女性達には、豪華な毛皮もワールドロップの一つに加えたいもの。そんな皆さんに毛皮専門店の老舗ベニ毛皮店(国際会館1階(221)3327)から耳よりなニュースが届きました。

九月十九日、二〇日の両日国際ホテルでファークレクションが開かれます。特に二〇日は一度行ってみた



昨年のショー風景

いという方のために、十八日まで申し込んでくれればご招待いたしますとのこと。毛皮のコートはますます豪華に、ぜいたくなものを気安く着るのが粋です。風の街角でもやさしく毛皮が包んでくれる。今年の冬はそんな冬にしませんか？

★二日で10万円のアルバイトノいいですね

センタープラザのベルがオープンしたのは7月26日。26・27日の二日間10万円のアルバイトをしませなか(ただし容姿端麗な方)という募集に自薦他薦のお嬢さん方がベルの前に列をなしたのも記憶に新しいこととす。五〇倍という激戦？の末選ばれたのは茂川秀子さん他五人のお嬢さん。審査にあたったベルの方も困ったくらいチャミングな人がいっぱいだったそうで、選ばれた六人も二日間、大ハッスルでした。

★大和屋シャツセンタープラザ店九月十一日オープン
大和屋オリジナルシャツとネクタイの店として開店が待たれていたセンタープラザ店が九月十一日にオープンします。オービンを記念して「秋最新着コレクション」がセンタープラザ店と国際会館店で同時に行なわれます。世界の銘品が揃いますよ。



●ショッピトビックス

☆今月号の特集でもありますが、秋の結婚シーズンに先がけ、つるや衣裳店(大丸前番321-0360)の秋の衣裳展示会が八月二十四日(日)オリエンタルホテルで行なわれます。今は本店の方に衣裳が揃っています。また中川衣裳店(セター街番37524)の秋の新作花嫁衣裳展示会が九月七日(午前10時午後5時)オリエンタルホテルの二階大広間で行なわれます。

☆オオメサンの話に続いてアマリエコ話を。亀の井亀井堂の最新型金銀の包みは薄いおせんべいが、銀の包みは薄いおせんべいの中にクリームが入っています。甘すぎない甘さのお菓子。六〇〇円〜二四〇〇円です。

☆ニューハイムの三宮店が改装オープンし、ドイッ色の強いメニージュと新製品が登場しました。ドイッジュース(サウリ、チェリ、オレンジ)は他にない直輸入品。持ち帰れるカートン入は五百円〜三百五十円、薄めなドイッジュースは百五十円、薄めなドイッジュースをレモンをしばって入れるとなお美味です。軽食用として三宮店だけのために水ねぎ入のパンも焼いているそう。

☆ニューポートホテルで盆踊りや金魚すくいなどの楽しい第二回納涼家族まつりが八月九日、十日の両日行なわれました。一階ロビーでは盆踊り大会、三階の宴会場ではモギ縁日というわけで屋台や植木、果物市、金魚すくいなどがあり、とりわけ暑かったこの夏放りに神戸っ子の人気を呼びました。☆タサキ秋の新作コレクション展示会が九月十五日から十七日までオリエンタルホテルで行なわれます。案内状ご希望の方は東京都港区赤坂一三五一アピタシオンビル田崎真珠販売促進部までお申し込みください。

ポケットジャーナル



★ふれあいのタウンに

生まれかわるさんちか

さんちかタウンでは8月24日に売りつくしセールも終り、25日から大改造工事にとりかかった。

9月27日に再オープンするまで、百三十一の全店舗が休業するが、改造後、クラシカル・モダンなデザインポリシーを基本にした新しいさんちかタウンが生まれる。その設計によると、公共通路は、ステンレスをミラー加工し、四つ葉のクローバーを原型にしたエッチングが天井に張られた「鏡のクローバーロード」が現れる。また中央には「インフオーメーションこうべ」が設けられる。これは彫刻家の新谷映子さん作の80体の女性のレリーフ「オーロラ」(12メートル)と噴水を中心とした二八五坪の広さのミニプラザで、市政・住宅・余暇・生活の情報センターとなる。さらに味ののれん街のつきあたりに

は、画家の石阪春生さんのエッチング「女のいる風景」(巾一八〇センチ 高さ一四〇センチ)が飾られ「オーロラ」「アルパの像」と共に、三つの芸術作品がさんちかを創る。

新しく誕生するさんちかタウンは、「本来の商店街のあるべき姿、つまり、商店街は街の顔であり、儲けるばかりでなく、人と人とのふれあいの場となり、コミュニティの場として、そして地域環元を考えなくてはならない」(神戸地下街森本常務)と、商店街の基本姿勢をとりもどす。それとともに、利用者の我々も公共のルールを守り、気持ちの良いさんちかタウンを創りたいもの。

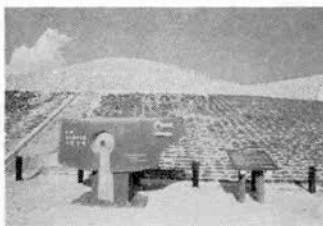
★古代のロマンを現代に

8月8日、「五色塚古墳」が史跡公園としてお目見えした。同古墳は垂水区五色山四丁目にある兵庫県下で最大の前方後円墳で、文化庁と神戸市が復元整備工事

に十年の歳月と二億五千万円を要し完成したものである。

「五色塚古墳」は陪墳の「小壘古墳」とともに四世紀末から五世紀初めにかけて築造された。墳丘は、全長一九四米、前方部の幅八一米、高さ一一・五米、後円部は直径一二・五米、高さ一八米で、周囲に幅約十米の堀がめぐらされている。

明石海峡を望む後円部には鱈付円筒埴輪、朝顔形埴輪のプラスチック製の複製も百五十本並んでいて、格好の史跡公園となっている。



五色塚古墳

★住民の不断の努力から

「平和の像」完成

長田区の高取山麓の平和台公園に「平和の像」が完成し、終戦記念日の8月15日正午、一分間の黙とうのあと除幕式が行われた。

これは、住民の不断の努力で変えぬ平和を、と地域活動を続けてきた長尾町二丁目と高取町二丁目の高麓

誕生日
ありがとう
運動



精神薄弱者愛護月間

九月は、全国的に「精神薄弱者愛護月間」です。この運動は、精神薄弱三団体(親、施設職員、学校関係)の主唱で、毎年九月を愛護月間と定め、本年で第十二回目を迎えます。

みなさんも、障害者がみんなと同じように社会の一員として、生きがいのある生活が送れるように考えてください。

古切手収集にご協力を

あなたの会社や家庭で古切手(使用済の日本、外国どんな切手でも可)が捨てられていませんか。古切手の周囲約一センチ程度にして三宮の国際会館一階の郵便局の前にある本運動事務所へ、持参してください。郵送をおねがいします。運動参加のカードをお送りします。この古切手を整理して、売却金は運動推進の費用となり、あなたが福祉社会づくりに活用させていただきます。昨年度は、多数のみなさまのご協力で約二十五万円の運動資金ができました。ありがとうございました。

あなたも、あなたのまわりにある古切手にハサミをいれるという行為を通じて、なにげなく捨てられている古切手に新しいいのちを与えてください。そして、みなさんの心を集める福祉の運動にご参加いただきますよう、おねがいいたします。

誕生日ありがとう運動本部

神戸市東灘区御幸通八の六 神戸国際会館一階(郵便局の前) 電話二五一八六一一内線三六



台自治会など五団体で結成されている高籠台各種団体連絡協議会(小室豊允会長)が自治会創立十周年を記念会としての事業。親子の愛情を形どり、公園中央に据えられたこの「平和の像」は、大理石をセメントで固めた白い像(高さ八〇センチ、長さ一・五メートル)で、住民の熱意に協力した彫刻家新谷沢子さんがロサンゼルスから帰国して二ヶ月かかって作り上げたもの。

★象の花子が
元気になった

七年前、北海道の動物園で不治といわれるクル病に侵され、さらに交通事故で大腿骨骨折の重症を負った象の花子が、以来、信田修治郎さんの愛情と全国からの励ましとに支えられて死線を乗り越えたと。花子のこの再機を契機にして「花子の愛の精神」により積極的な実践の場へ、より実り多い社会的な運動へと、「象の花子の会」(会長・武者小路実篤)が結成された。

同会は「花子の完全回復の日まで支援を続けよう」「花子の村をつくらう」や「花子の故郷・タイ国に支

部をつくらう」など七つのスローガンを掲げ、全国からの会員を募っている。

高度成長が生んだ物質的な繁栄のヒズミが心を荒廃させた現代になげかけるこの愛の運動の光は非常に明るい。

★屏風ふうの絵ハガキ
お土産に

故池長孟氏が収集した南
蜜美術品約四五〇〇点を所
蔵し、東西交流の歴史や文
化に関心をもつ人々にとつ
ては欠くことのできない美
術館である神戸市立南蜜美
術館から、見事な絵ハガキ
が発売された。



ハガキ四枚分がひと続きになった。一泰西王候騎馬図（重要文化財）と狩野内膳筆の「南蛮屏風」（三枚分）がセットになっており、神戸の人たちだけでなく、外国人たちに喜ばれたいというなもの。贈り物に、神戸の土産に、ハガキとしての価値だけでなく装飾品としてもおもしろい。一セツ

ト三百円。南蛮美術館にて発売中。南蛮美術館Ⅱ 聳合区熊内町1 月曜休。

★無言！ 舞踊集団「燐機
大踏鑑」は踊る

東京目黒のアスベスト館で定期的に公演し、好評の土方巽さん率いる舞踊集団「燐機大踏鑑」が京都にやってくる。

公演は、今年、舞踊評論家協会賞受賞の芦川羊子ほか仁村桃子、和栗由紀夫、雨宮光一らの出演により10月18日・19日(両日と



菅川羊子さん

も3時・7時の2回公演)
京都大学西部講堂にて行な
われる。(前売・八〇〇円
当日・一〇〇〇円、コーペ
ックスにて発売中)

肉体が極限までいじめられた表現がひとつのストリーを構成する。それを観客がどう感じるか。「ゴミのための美しさ」がひとつのテーマでもあるこの集団の京都での公演が期待されるよう。

問い合わせ：京都市大学西部講堂協議会
075-771-3751
プレセント：煙草大路館京都公演に神戸市脱10名様招待、希望の方は神戸市子煙草大路館係までおひかりで。

美術ガイド



★兵庫県立近代美術館
常設展—金山平三展

★南蠻美術館

★白鶴美術館

9
/ 14
11
/ 24

現代ヨーロッパ巨匠 リトグラフ

第3回甲映会日本画展

9
18

★そころ百貨店美術画廊

備前山本陶秀父子

松本奉山水墨画屏

吉野谷幸重油絵展

★KCCアートギャラリー

★KCCギャラリー

明石工芸館 9/17(土) 9/18(日)

神戸税関グループもやい展

★西宮市大谷記念美術館

$$\begin{array}{r} 9 \\ 4 \\ 2 \\ 9 \\ 24 \end{array}$$

中国元時代および明初染付小

五曜会洋画展 9/13~9/19

9
20
7
9
26

杉岡宗一日本画展

★白い恋人たちの季節到来

ユーモアいっぱい、景品いっぱい、の第二回スキー映画の夕べが10月3日午後六時三〇分から九時まで県民会館大ホールで開かれま

す。
ド、素人によるスキーファッションショーやスキーと山用品の新品、ニューモデル、キズモノセリ市などプログラムも豊富。ファッションショーも愉快なものになりそうです。

映画は「ボルクルのホッ トドッグスキー」「白いピステの狼」「ウェイ・オンのフリースタイル教室」「雪と氷の幻想(ニュージラント)」の四本立て。同時に穴戸秀雄プロの写真展も開

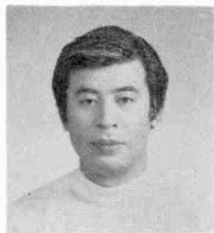
かれるそうです。

この季節になると自慢の腕がムズムズしてくる方、今年こそは、と張切っている方、是非どうぞ。詳しいことはガイドの小屋(電話391-8659)まで。

★ある小児歯科医の訴え

佐本進さん(佐本小児歯科院長、神戸臨床小児歯科研究会々長)がこのほど「小児歯科医の立場から」と題する小冊子を出した。

これは最近の歯科医告発問題の渦中で「私自身の小児の歯の専門医としてやってきたことに対しての反省の意味と、また今後の方向づけを行う為に私自身の考え方をまとめよう」として



佐本進さん

執筆されたもので、「医師と患者は本来あるべきはずの人間関係をもう一度、回復すべき必要」と、「良い医療を、より良く方向づけて行く為には、やはり国が最大のその責任を負うことであり、国に思慮と猛省をうながし、その姿勢を正しことを求め」うためにやるべきことを熱く語りかけ、ムシ歯予防センター設立の決心をのべている。

花時計



ユニークな

神戸製鋼美術賞展

こんど神戸製鋼が、美術賞展を新設した。

この美術賞を設定した動機は、同社では毎年自社のP・Rのため海外版も含めて、15万部のカレンダーを発行しており、このカレンダーを媒体と

して神戸製鋼美術賞展の入賞作品を公表していく方針。そして、明日を担う新人にとって画壇への道をひらく機会をもたせようというのである。

したがって、1976年カレンダー原画公募というサブ・タイトルがつけられている。

応募資格は16才以上、応募制限は一人二点まで原則として、未発表作品というから、幅広くプロでもアマでも参加できる賞金は神戸製鋼大賞、鉄賞が副賞一〇万円、準賞に、銅賞、五〇

万円2名。佳作、銅賞、三〇万円3名。入賞若干名となっている。

賞設定の目的はつきりして、入賞作品の活用も明示されているので、かえってさわやかさがある。素晴らしい着想である。賞金も従来の賞をはるかにしのいでいてボリュームがある。

従来の美術賞展にない気楽な姿勢に見えるが、審査員の陣容は盤若の構え。そこは、流石に鉄屋さんらしい。いい美術賞展に育て上げてほしいものだ。

〈Y〉

KOBE POST

★作家の島尾敏雄氏から住所変更のお知らせがありました。〒811-03 指宿市西方一四〇八

また、七月下旬に神戸へ立寄られ神戸小学校のあるクラススの四十五周年のクラス会に出席されたそうです。

★神戸大学文学部助教授の野口武彦さんは、このほどアメリカへ再留学されました。

★8月30日に二年ぶりに75「8の会」が、小原流家元会館の夕景の見える庭園で開かれる。(夕5時半)

今年は、本邦初公開の趣好がこらされているそうです。

★彫刻家の新谷瑛紀さんにまた二子誕生。こんど女の子で名前はお景(タミ)さん。また、ロスアンゼルスに滞在中の妹の沢子さんが姉妹、平和台の彫刻制作後8月16日に帰来。この秋結婚されるとか。

★造形作家の植松奎二さんは、夫人の和子さんと共に、西ドイツのデュッセルドルフへ9月1日に旅立ちました。1年間留学の予定。デュッセルドルフ到着後、10月に三週間ヘルシンキのギヤラリー・チープスルで個展を開き、10月末、ストックホルム近代美術館で現代美術の国際展に作品を出品する予定。

★9月1日、アフリカスベジャリストの福岡康年さんが、元町2丁目(キヨシマ屋入る)に、「デイラ」というティールームをオープンしました。たかしもうさんの、笑点が、毎日飾られ、売られるそうです。

★レモンクラブ(山下駿児社長)の事務所が、神戸市貴合区御幸通8丁目1の6神戸国際ホテル15号室(2202)に移転されました。

★デザイナーの本田貴客子(各紀代子)さんが、ブティックJOYを、青谷のマンションの一室に開かれました。

〒650 神戸市貴合区中島通4丁目1ノ20 エンターレジデンス22号

さまざまな表情で語りかける静かな時を



STAND
実

神戸市生田区
中山手通1の2
☎ 331-6985

潜り戸を通して
“花”のおふくろさんの味を



● こん立て ●
たかのり弁当
やよいの里
花そうめん
みむろそうめん
天ぷら
おつくり
玉子どうふ

和風季節料理

花

11:30A.M.~8:00P.M. 月曜日定休
さんプラザ地階 ☎ 331-0087

まだ遅くない

葉月一郎
え・小西保文(題字も)



挑戦

新聞社の編集局は、たいてい、だだっ広い大広間である。

経済部、社会部、運動部、文化部……と、担当部門別に分れてはいるが、各部ごとに仕切りがあるわけではない。せいぜい壁がわりに、背の低いロッカーが並べてある程度だ。

毎朝新聞の大阪本社も、似たような構造である。その広間が、昼下がりの夕刊縮切時間近くともなると、活気にあふれていた。

と、突然、その活気を分断するように、若い記者の一団が急ぎ足で編集局を横切つてゆく。それは、黒装束の野武士たちが都大路を駆け抜けるのにも似て、どこか異様な雰囲気を漂わせた。

その異様にいち速く気付いたのは、庶務部の次長たちである。

〈あらすじ〉神戸に君臨する大企業、兵庫製鉄(兵鉄)の公害をなくせと、毎朝新聞神戸支局の石津支局長がキャンペーンを企画、取材をすすめていた。昭和四十五年秋のことだ。

仕事への情熱を失い、バーの女ユリとの情事におぼれていた戸波峻記者も、十年のキャリアを買われて参加する。たまたま顧客にからまれていたところを助けてやった兵鉄秘書課の細川亜紀子と親しくなり、亜紀子は会社首脳の新開社対策などをそのつど戸波に知らせて協力する。亜紀子の兄も記者だったが誤報事件のワナにかけられて自殺したのだった。兵鉄の花房総務部長からは二人の関係をかきつけ、亜紀子を工場勤務へと配置がえする。新聞社にも記事とりやめの申し入れをしだらしく、支局長や泉田次長らは本社へ喚問され、キャンペーンは掲載直前に中止と決まる。

傷心の戸波は、その夜、亜紀子がひそかにアパート暮らしをしていることを知り、疑惑を深める。真相のつかぬまま酒に溺れた戸波の帰宅を待っていたのは亜紀子だった。彼女はキャンペーン中止の理由を問いつめ、「新聞記者はクライ」と叫ぶ。戸波は激情の中で亜紀子をなにかば暴力的に侵し、絶望のあまり退社願を提出。その夜、たまたま出会った花房総務部長にひやかされ、吸ろうとして逆に路上に叩きつけられてしまう。一方、同僚の八木沢ら若手記者たちは、本社へ直訴してでも記事の掲載を実現しようと計画する。

長身の次長が、すばやく一団の前に立ちふさがった。部員の一部も駆け寄る。たちまち人垣ができた。

「君たち、どこへ行くのや」

「編集局長に会いたいのです」

先頭の眼鏡の男——八木沢記者が菌切れよく答えた。

木曾、松岡、海野、永田、奥西……神戸支局の六人の侍たちは、いちように肩をいからせ、緊張に着^あぎめていた。

（直訴して、何とか公害キャンペーンを記事にするのだ）

決意と悲壮感が、渦巻いた。

庶務部の次長は、局長と聞いて一瞬たじろぎ、すぐ態勢を立て直すに緊迫した表情にもどった。

「なんの用や。来るようにいわれたのか」

「いや、ちょっと、お願いしたいことがあります……」

「それなら、ちゃんと筋を通して、職制を通じていえない」

はげ上がったたいを光らせると、次長はとげとげしい眼になった。

「君ら、一体、何部のものかね」

「神戸支局です」

「なに、支局か。それなら、第一、職場放棄やないか。どうせ管外出張の届けは出していないやろ」

新聞社といえども自由人の集団ではない。そこには規則もあれば、掟^{めい}もある。それを守るための官僚的機構と、その番人も存在する。

忠実な番人は、六人をひとわたりらみ回した。記憶のフィルムに撮っておくぞ、という眼差である。

「何や。何の用があつて来たんや」

庶務部員たちの肩越しに声がした。

管内の支局を統轄する地方部の池谷部長だった。おそらく、誰かがご注進におよんだのだらう。急ぎ足で駆けつけてきたらしい息づかいだ。

地方部長は、巨木の間をすり抜ける熊のように、うっそりと一番前へ姿をみせた。

「何だ、君たちか」

そういうと、あちらへ行け、と目で示した。

「ここでは何だから、おれの席で話を聞こうやないか」
造反グループに直訴されたら、おれの立場がない。早

くこの場から引き離して、うやむやに取りつくろってしまおう——体格に似ず細心で、ことなかれ主義者らしい表情が、そう語っている。

「いや、僕たち、局長に直接、お願いしたいことがあるんです」

「わかった。わかつとるよ。だけど、な、君、物事には順序つてものがあるやないか」

「しかし、その順序は先日、うちの支局長が踏んだはずです。われわれは、形を変えて、聞いてもらいたいのです」

木曾が、一歩も譲らんぞ、といった構えで声をあげた。

「ああ、例のキャンペーンの件やな」

地方部長は、はじめて気づいたような口ぶりで、表情を硬くした。

「あれなら、もう済んだ。聞くことも、いうこともないよ。さ、帰った、帰った」

まるで野犬を追つ払うような素振りや、木曾たちを遮り、押し返そうとする。

「なにするんです」

「部長、あんたは、頭ごなしに弾圧するんですか」

まるで、激しく対立している労使の団交にも似たことばが飛び交った。

そのとき、六人の背後から「やめんか」と鋭い声が飛んだ。

石津支局長であった。

背広の上衣をワシづかみにし、ワイシャツをまくりあげて突っ立っている。髪はクシを通した跡もない。

あの緊急部会以来、まだ二日しか経っていない。だがまるで別人のような深い疲労のいろと、とがったけわしさが頬に刻みこまれているのが誰にも明確に読みとれた。

六人の胸中に、それぞれ複雑なかけりが宿る。

直訴計画は、支局長抜きで固めたものである。が、責任というになると、当然、それは第一に支局長が負

わされるだろう。

ある記者は、まるで悪戯^{いたづら}をみつけれられた子どものように首をすくめた。

ある記者は「支局長には関係ないよ」という表情を崩さない。

が、だれもが感じたのは、直訴が挫折した、という想いである。少なくとも、きょうの計画は――。

そんな胸中を無視したように進み出ると、支局長は地方部長に硬い会釈をした。

「どうも。また、あとで」

それだけいうと、六人に向かって両手を広げた。まるで部下たちを一束にして、風呂敷に包んでしまうようなポーズであった。

「ちょっと目を離したら、こんなことか。仕様のない奴らやな」

目だけかすかに笑うと、「ついでに」と先頭に立つた。

行先は筋向かいのホテルだった。そのロビーに陣取ると、支局長は大声で頭数だけのコーヒーをボーイに注文した。

「このコーヒーは高いんじや。割り勘やぞ」

誰も笑わない。その凍えたような顔を一通り見回すと、支局長はタバコに火をつけた。

「今朝、君らのことを一部の支局員から聞いた。気持ちい、わかる。有難い、とも思う。しかし、いつかデスクがいったように、これではケガ人が出るだけや」

「有難い、なんて言わんで下さい」

突っかかるように八木沢が口をはさんだ。

「支局長のために、やったんじゃない。僕らは、僕らの書いた原稿がかわいから、ひいては、神戸の町で公害を受けてる住民のためにどうしても掲載すべきだと思ふからこそ、あえて非常手段に訴えたんです」

コーヒーが運ばれてきた。

会話が途切れた。

その間にエンジンをかけ直したという感じで、支局長が口をひらいた。

「八木沢君、いや、みんな聞いてくれ。組織というのは、びっしりと縦の糸でしばられている。はみ出せば、その部分だけ斬り捨てて冷感もある。なまじっか、反体制、なんてレッテル貼られた人間が、組織内でどんなにひどい扱いを受けてきたか、おれはそういう人たちがゴマンと知っている……」

「だから、上のいう通りにしろ、といたいのですね」
木曾が軽蔑のいろを露骨にあらわして口をはさむ。それに取りあわずに、支局長はつぶけた。

「斬り捨てられてもいい、どんなひどい扱いも承知の上というのは、感傷に過ぎん。勇気があるようで、それは単なる蛮勇でしかない、おれは思うんや。どうや、違うやろか」

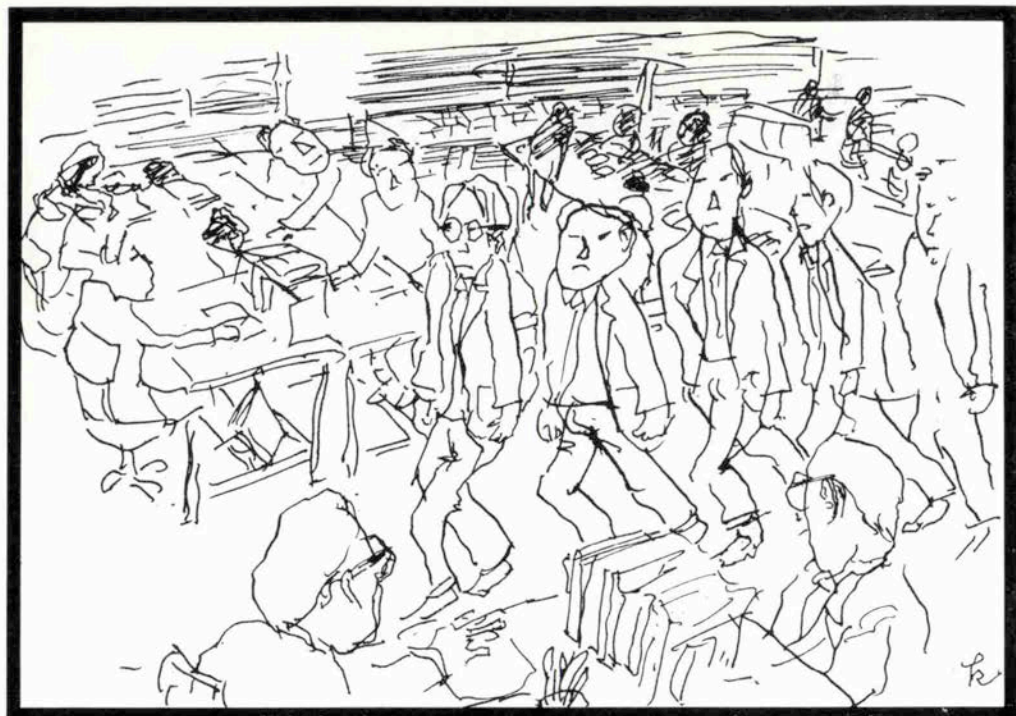
ゆっくりと支局長は部下たちに視線を回した。火をつけたまま一服もしないタバコが、ほとんど灰になっている。

「どんなカッコ悪うてもいい。この組織のカサの下で、みんな生きていこやないか。生きてさえいたら、なんぼ締めつけがきつうても、それなりに自分のいたいことを書く場はあるよ。それを何とかみつけれ出して、ワクいっぱい書くのが新聞記者の義務であり、生活の智慧いうもんやで」

「そうやって妥協していくうちに、段々自分を見失って、いつのまにやらタダの記者に風化する、いや、人を蹴落としてでも偉うなりたい、という腐ったサラリーマンタイプになり下がる。そんな先輩も、僕ら、ゴマンと知ってますがね」

「おれも知っとる。おれの同僚にもいっぱいいる。だけど、いや、だからこそ、ここで、君らに注文しとるんや。そういう人間にならんように、肩を組んでいこうやないか、と」

「つまり、今度の公害キャンペーンは、あしたに備え



りと夏の太陽が枯草を灼くような瞳のいろだった。

そして、低く、ぼそつといった。

「おれは、あきらめていない」

「……」

「実は、ゆうべ、もういちど守野局次長と膝づめで話をした。今夜も挑戦してみようつもりや」

「支局長」

「いいか。君らは斬込み隊になっちゃいかん。そんなもん、単なるエエカッコシイ、と他人にいわれるだけや。どうしても、そんなドンキホーテになりたいのなら、もう二、三日、そう、おれがぶつた切られてからにせい」

この男らしい古風な表現である。しかし、それなりに小さな感動が走った。そして、大きな不安が追いかけてきた。

一将、功成つて……ではない。一将枯れ、万骨もまた枯れ果てるのではなからうか。

賭けと祈り——その二つが八木沢たちを重苦しく覆っていた。

大阪本社と、このホテルでのいきさつを伝え、戸波に伝えてくれたのは松岡記者であった。

戸波は顔を包帯におおわれてアパートで寝ていた。

て、あきらめろ、ということですか」

松岡が、いかにも行動派らしく、短兵急に結論を求めた。

支局長は、松岡の角刈り頭をじっとみつめた。じりじ

前夜、有野社長に力まかせに舗道へ叩きつけられた傷が、いまでも痛む。しかし、その痛みは、どこか快感をもなっていた。胸の底のどこかに残っていた未練や色気を、それが粉々に打ち砕いてくれたからだろうか。

ユカだけが、いまの戸波の支えだった。

三宮の路上から、雨の中をタクシーで救急病院へ運び治療が終わるとアパートまで付添ってくれた。

「睡もしない看病、朝の食事、部屋の掃除……。そのかいがいしさは、新婚でもない恋女房そのままだった。」

「ごめんなさいね。私が海へ行こうなんて誘って、あんなところを通ったからなのね」

その言葉を繰り返した。

相手が、兵庫製鉄の関係者と感じ取っているらしいのに、一言も口にしない。

視線が合うと、ただ、例の暖かい微笑を送ってくる。そこにユカならではの優しさを見た。

「晩ご飯の仕度と、そう、お花でも買ってくるわ」

そういつて出かけたユカと入れかわりに、やってきたのが松岡だった。

「支局長も再挑戦するといってるんです。やめるなんていわずに、もう一度、参加してくださいよ」

この若い、正義感あふれる記者は、まともに支局長の心中を汲みとっていた。

が、戸波は枕元にいる松岡の声を遠くに聞いた。

耳に入ったが、心には届いていない、といつてよかった。

「おれの辞表、支局長は受理してくれたらどうか」

それが、松岡に発した初めての質問だった。

「八木沢は、たしかに渡してくれたんだな」

「ええ、ホテルのロビーで。でも、支局長はロクに見もせず、ポケットへ押しこんでしまっていましたよ」

「そうか。それでいいんだ」

もういちど取材スタッフを編成しなおす、時間をかけて公害の実態を洗い出す……。熱っぽく、松岡は打合わせの模様を語りつづけている。

適当に合槌を打ちながら戸波は、それを遠い国のできごとのように聞いた。

新聞の役割、社会に貢献している力について全く認めないわけではない。

だが、支局長のいうように、体制のワク内で、果たしてなにほどのことができるのか。「できるはずだ」というのは、それこそエカッコシイではないのか。

「戸波さん、聞いてるんですか」

戸波が上の空なのによく気づいたのだから、松岡が身を乗り出して念を押した。

「あした、もう一度、打合わせ会をします。ぜひ、顔を出して下さいよ」

「さあ、ちょっと無理だろう。まア、みんなに宜しくいつておいてくれよ」

首を振ると、激しい痛みが襲う。思わず顔をしかめた。「あ、そのけが、本当にどうしたんですか」

はじめて気がついたように松岡がのぞきこむ。

「う、うむ。酔っぱらってな、この近くの溝へ落ちたんや、われながら醜態や」

苦笑してみせる。

いまさ、くわしく説明したくもない。第一、兵庫製鉄がらみだといったら、松岡たちが「ただではおかぬ」のではないか。もう、そんな生臭い話は願い下げにしたい……。

突然、ドアをノックする音が聞こえた。

ユカが戻ってきたのだろうと直感する。

しかし、予想は外れた。「ごめんください」女の声がして、ドアが開く。

まず、花束がみえた。一人ではかかえきれないほど盛りこまれた豪華な花束である。玄関から部屋の中へ、甘酸っぱいその香りが、またたく間に広がる。

花をかかえているのは、まぎれもなく細川亜紀子であった。黒地のツーピースが、肌の白さをひととき引き立てている。

亜紀子は立ったまま表情も変えずに静かに頭を下げた。そして、いった。

「おけがの、お見舞に参りました」

(つづく)

talk and talk



〈★神戸っ子愛読者サロン〉

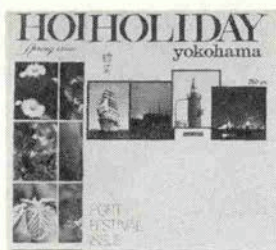
★ HOLIDAY YOKOHAMA

VOL 2

出来上りましたので御送付いたします。おかげさまで、仲々好評をいただいております。サマも増えつつあります。

また読者の声も色々集まりつつ、今後とも貴誌を一つの目標として我國の代表的なタウン誌となる様ががんばる所存でございます。今後ともよろしくお付き合いをお願いいたします。

私が貴誌にとってもなつかしさを感じますのは、実は、神戸（甲南大学）の生れであり、今でも祖



創刊されたホリデイヨコハマ

父、祖母は岡本に健在で年に二、三回は遊びにいらしてあります。

多分スタッフの中には御存知の方もいらつしやることと思います。が、私の祖父（広瀬健治）は数年前まで神戸の内海水先案内人の理事をやっております。なにしろ生れてこのかた、海に生きてきたといっても過言ではありません。

私も、神戸で生れ、そして同じ港町、横浜に住み、何か海との宿命を感じております。

まだまだ、ヨチヨチ歩きではありますが、色々御教示もいただきたく思います。

岡本奈川タイムス内
ホリデイヨコハマ編集長

〈広瀬 治彦〉

☆ホリデイ・ヨコハマの創刊おめでとう。同じ港町としてヨコハマのタウン誌の誕生は何より嬉しいことです。海を愛する広瀬編集長のご健闘を祈ります。〈編集部〉

★日と共に果てしなく展開して行く東洋のナポリミナトコウベは真盛り、不幸にして新空港は出来な

かったけど花と緑のこの街の大地に第一歩を刻み入れるこの一刻この感激を神戸と旅を愛する貴方はさて今日は北から南から何処から世界のエトランゼゴールドウオーター湧きおこる布引前の新神戸駅それとも今宵は百万弗の海岸線、ゴールデンブリッヂターミナル。

来る日も来る日も終日押し潰ぶされそうな苦しみと悲しみの中

を生きて来た私達に私達の周囲凡てが最早あの戦争を忘れようとしている。そして日進月歩何も彼も凡てが変り果てた神戸ミナトコウベと共に歩み続ける私達の神戸っ子そんな貴誌に私達は何時迄も、何時迄も声援を送ると同時に思い出の神戸市電新開地欄を御願ひし度い。

荻谷区国香通三一二

坂本アパート内

三木 克彦

☆熱心な愛読とご投稿ありがとうございます。OLD KOBÉの市電物語、新開地のお話一読下さい。〈編集部〉

連日の暑さをいかがお過ごしでしょうか。今年の夏も小豆島へやってきました。すでに一ヶ月半たちました。三ノ宮のネオンがちよつぱり恋しい氣もします。

八トンもあった荒石が五トン程にちぢまり、二つ折りの座も形をはつきりとみせてきました。秋に宇部市で開かれる「現代日本彫刻展」への出品作品です。

朝夕は秋の気配を感じさせる風が吹き始めました。島を去る日が近いようです。〈増田正和〉

★「Old Kobe」元町通はなつかしいです。しかし、昔のことは知りませんので、新鮮な気持ちで読みました。

海船港「マルコポーロ号を訪ねて死ぬまでには一度船旅をしたい」と思います。〈丸本明子〉

神戸のうまいもん&ドリンキング

★日本料理

讃岐名代うどん **あこや亭**
神戸市東灘区旗塚通7-5 TEL 231-6300
トアロード店 TEL 391-2538
兵庫駅前店 TEL 575-5306

和食 **くれなゐ**
三宮生田新道浜側中央
KCBビル2F TEL 331-0494

かつばう **花くま**
神戸市生田区花岡町45
TEL 341-0240

鍋もの・おむすび **悟味西**
お茶漬・かばた 神戸市生田区北長狭通1の20 TEL 331-3848
三宮さんちかタウン TEL 391-5319

お茶漬・おむすび **ふる**
鍋もの 神戸市生田区北長狭通2の1
TEL 331-5535

たこ焼 **たちばな**
三宮センター街(旧柳筋) TEL 331-0572

北海道郷土料理 **蝦夷**
神戸市生田区中山手通1丁目115
生田区東門筋東門会館ビル1階
TEL 331-7770

カニ料理 **婆娑羅(ばさら)**
神戸市生田区北長狭通1丁目18
三宮阪急西口北側レインボーブプラザ1・2F
TEL 321-6363

天プラハウス **瀬戸**
美術喫茶 神戸市生田区山本通3丁目27の9
瀬戸ビル1F TEL 221-6548

★西洋料理

レストラン **アポロン**
ティー・バーラー 神戸市東灘区八幡通5丁目6
TEL 251-3231

レストラン **鹿皮(あらかわ)**
神戸市生田区中山手2-9
TEL 221-8547・231-3315

GALLERY & STEAK HOUSE **SAN-MON 三門**
神戸市生田区中山手通2丁目98ノ99
TEL 331-5817

ステーキハウス **れんが亭**
神戸市生田区下山手通2丁目34
TEL 331-7168

レストラン **セントジョージ**
神戸市生田区北野町1丁目130
TEL 242-1234

レストラン **男爵**
神戸市生田区中山手1-18
山手第一ビル1F TEL 241-0778

maison de la mode **花屋敷**
三宮フラワーロード市役所前
TEL 251-2109

鉄板グリル **きゃんどうる**
神戸市生田区北長狭通2-22
TEL 331-1183

レストラン **フィッシャー・マンズ・ポート**
神戸港第4突堤ポートターミナル
TEL 331-0301

居酒屋 **ロス・ヒターノス**
フラメンコショー 生田区下山手通3丁目22
下山手セントラルハイット
TEL 391-5431

レストラン **ムーンライト**
三宮・生田新道
TEL 331-9554

グリル・鉄板焼 **月**
神戸市生田区北長狭通1-24
生田神社前 TEL 331-2509

BARBECUE & STEAK **六段**
生田区元町通3丁目
TEL 331-2108

レストラン **スイス・シャレー**
神戸市生田区北野町3丁目48アニルドマンション1F
TEL 221-4343

レストラン **ハイウェイ**
神戸市生田区下山手2-20
TEL 331-7622

ピッツアハウス **ピノッキオ**
神戸市生田区中山手2-101
TEL 331-3545

レストラン **フック東店**
神戸市生田区栄町1-5-3
TEL 321-3207

ビザ&スバゲティ **ガルの店**
東灘区琴緒町5丁目1-7
西山ビル1F TEL 241-9025

ステーキハウス **グリル青山**
神戸市生田区中山手通2丁目112-2
(トアロード) TEL 391-4858

レストラン **フック神戸店**
神戸市生田区栄町通2丁目24
TEL 321-3453

ビザ・パブ **ピザ・パテオ**
神戸市生田区元町通1丁目49(元町1番街)
TEL 331-9378

ナイト火 **の鳥**
レストラン 神戸市生田区中山手通1丁目27
TEL 242-1330

スカンディナヴィア料理
と世界の民族音楽の店 **ゴックスタッド**
生田区山本通3丁目18 回教寺院前
TEL 242-0131

メキシコ小料理亭 **ティファナ**
神戸市生田区中山手通1丁目4ノ12 パールコーポラスビル1F
TEL 242-0043

ステーキ&
ドリンキング **黒牛**
神戸市生田区中山手通2丁目39の36
TEL 241-3739

ドイツ風
音楽レストラン **コーベ・ロレーライ**
生田区北長狭通6丁目39
TEL 371-0086

★喫茶 **にしむら珈琲店**
中山手店・神戸市生田区中山手通1丁目70
TEL 221-1872・231-9524
センター街店・神戸市生田区三宮町2丁目35
TEL 391-0669

北野店・山本通2丁目9 TEL 242-2467
(会1制) 3F事務所 TEL 242-1880

喫茶 **ガーデニア**
神戸市生田区東町113-1 大神ビル1F
TEL 321-5114

珈琲 **モーツァルト**
神戸市生田区山本通2丁目98 グランドマンション1F
TEL 241-3961

ティ&
スナック **サボテン**
神戸市生田区中山手通2丁目
(神戸女子短大前) TEL 241-7060

ティ&
スナック **エポック**
神戸市生田区元町通3丁目(浜側)
TEL 331-3694

★club **千**
クラブ 神戸市生田区下山手通り2丁目21
TEL 391-1077

c l u b **飛鳥**
神戸市生田区中山手1丁目117
TEL 331-7627

c l u b **小万**
神戸市生田区東門筋中島ビル3F
TEL 391-0638・4386

c l u b **さち**
神戸市生田区中山手通2丁目75
TEL 331-7120

c l u b **なぎさ**
神戸市生田区北長狭通2の1 TEL 331-8626

c l u b **落(く)き**
神戸市生田区下山手通2丁目 TEL 391-1515

くらぶ **ぶーげん**
三宮生田新道浜側中央KCBビル5F
TEL 331-8593

c l u b **Moon Light**
BAR TEL 331-0886・391-2696
Club TEL 331-0157

クラブ **るふらん**
神戸市生田区北長狭通1丁目53 TEL 331-2854

★STAND & SNACK **ベルビュ・ドール**
ドリンク & レストラン 神戸市生田区中山手通2丁目101 大洋ビル2F
TEL 321 5677

スタンド **英国屋**
生田区下山手通2-6 相対タクシー横
TEL 331-1100・331-6600

洋酒ハウス **雑貨屋**
生田区下山手通2丁目8の6
(生田新道相対タクシー横) TEL 321-0260

スタンド **グラムール**
生田筋岸ビル地階 TEL 331-4637

スナック&ドリンク **姫**
神戸市生田区中山手通1丁目18
TEL 221-1950

カクテルラウンジ **サヴォイ**
高梁山側 テキの店北
TEL 331-2615

DRINKING IS AN ART OF LIFE **ウッドハウス**
神戸市生田区下山手通1丁目132
PHONE 078-241-7320

スナック **ビジービー**
神戸市生田区中山手2丁目
TEL 391-4582

居酒屋 **ボルドー**
生田新道浜側中央KCBビル5F
TEL 331-3575

Wine and something **珍地理屋**
神戸市生田区中山手通1丁目24-7
大和ナイトプラザ1F TEL 242-0288

サロシ **神戸時代**
生田区中山手通1丁目128
シャトウコトブキビル TEL 242-3567

スタンド **くる実**
生田区中山手通1の72
TEL 331-6985

キャンティ **2ノ3**
本店洋酒の店 神戸市生田区北長狭通2ノ3
tel 391-3060・391-3010

北店スーパとパンの店 神戸市生田区下山手通3ノ8ノ9
tel 331-3661

DRINK SNACK **スネカジリッ子**
神戸市生田区下山手通2丁目
水尻ビルB1 TEL 391-8708

msic spst **サントノール**
トアロード店 生田区下山手通2丁目トア・ロード
tel 391-3822

北野店 生田区中山手通1丁目24-7
ダイワナイトプラザ6F tel 221-3886

素舌洞 **でっさん**
神戸市生田区北長狭通1丁目258
TEL 331-6778

STAND **マシュケナダ**
生田区下山手通2丁目ちやいなタウン地下
TEL 331-5587

スナック **GASTRO**
神戸市生田区中山手通3-20
トーマンション TEL 231-0723

ティ&パブハウス **バスチャーリントン**
生田区北長狭通2丁目(トアロード)
TEL 332-1125

スナック **エドワーズ倶楽部**
神戸市生田区北長狭通1丁目28
ホワイトローズビル5・6F 生田新道 TEL 391-3300

サロシ **アルバトロス**
生田区中山手通り1丁目24の7
大和ナイトプラザ2F-B TEL (231) 3300

CAFE WHISKY **音楽の家 ETエトワTOI**
神戸市生田区三宮町3丁目 三宮センター街西入口
スカイテアビル3F TEL 332-1755

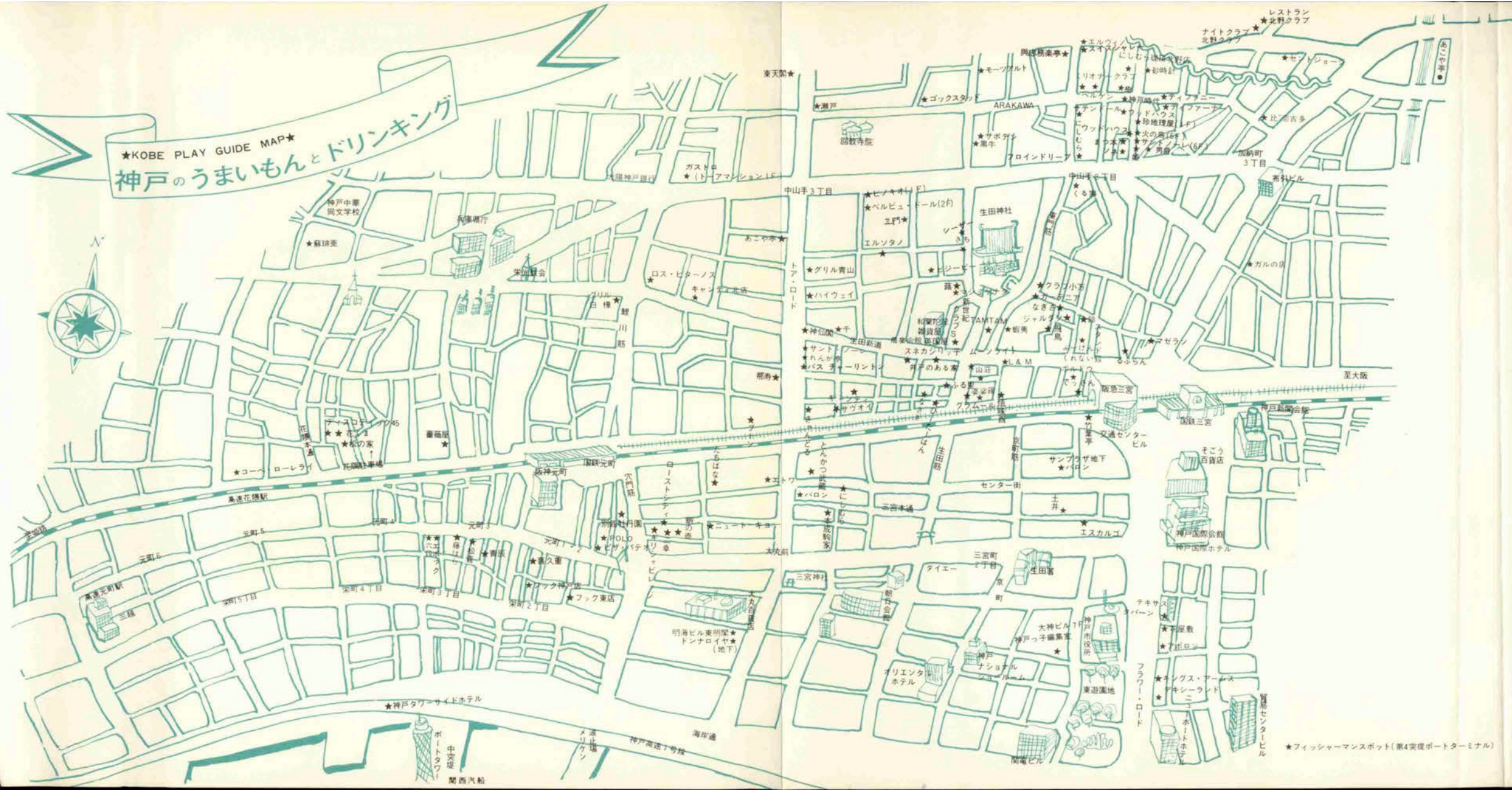
スナック **山荘**
神戸市生田区北長狭通1丁目22
TEL 391-5823

スタンド **紋**
神戸市生田区北長狭通1丁目41-1 レンガ筋
TEL 331-8858

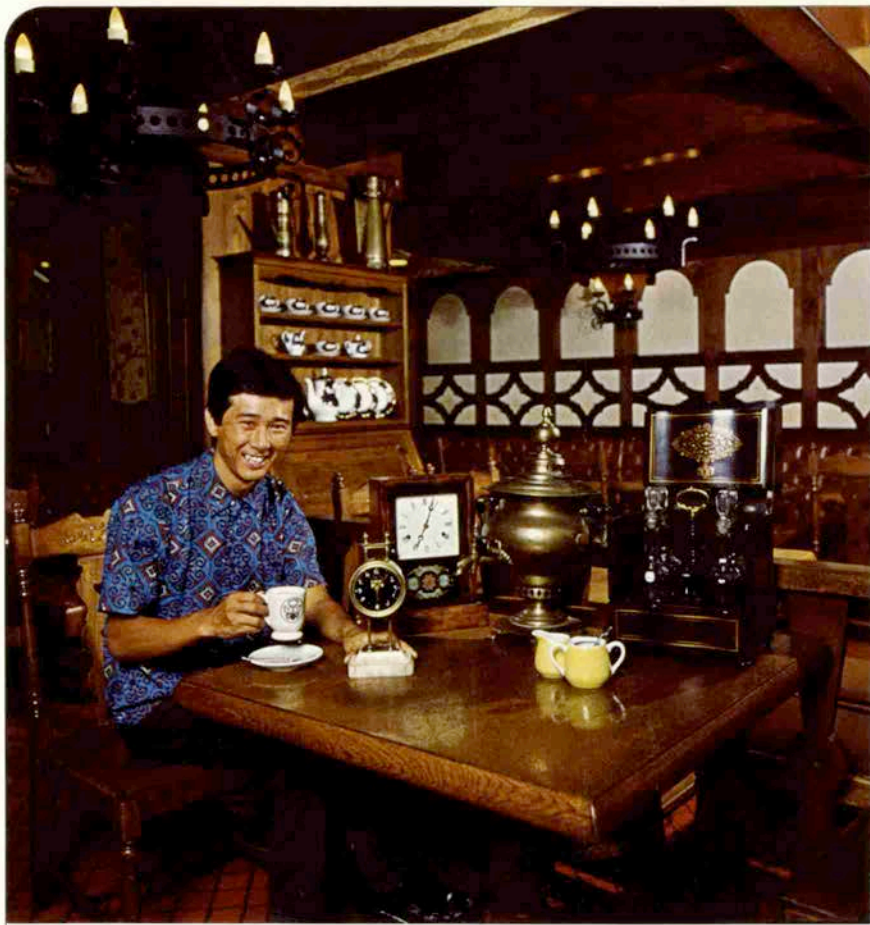
スナック **興志務楽亭**
神戸市生田区山本通2丁目60 パールライブB1
TEL 242-1977

SNACK L **8**
生田区北長狭通・
生田新道ビ
TEL 321-11

★KOBÉ PLAY GUIDE MAP★
神戸のうまいもん＆ドリンクング



★フィッシャーマンズボット(第4突提ポートターミナル)



balcon antique series

XXXII 時計

鉢木伸一郎

〈ノア 店主〉

40～60年代のジャズレコードのコレクションが 600枚。アンティークに魅かれることもジャズに揺れることも郷愁かもしれない。日常生活が合理的であることも大切だが、毎日のようにネジを巻かなければ動かない昔の時計やガラスの器と語り合う会話。スイングジャズもアンティークもその時代そのものが私に語りかけてくる。それが今の私たちにとって貴重なものではないだろうか。

さんブラザ バロンにて
カメラ/米田 定蔵



バルコン

★英国風喫茶・レストラン 三宮さんブラザ店
TEL 391-1758 AM11:00～PM9:00迄

★コーヒーショップ トア・ロード店
TEL 391-1210 AM10:00～PM9:00迄

★コーヒーショップ センター街店
TEL 391-1375 AM10:00～PM9:00迄

オープニングに 発見しました。

線から面へ。神戸っ子に愛されたセンター街。都市計画で「サンプラザ」が生まれ、7月26日には待



ちかねた「ヘンタープラザ」がオープンしました。宮崎市長さんのテープカットに、新しい神戸の顔をつくるこの「ヘンタープラザ」は、地下はたべものやさん1Fはもとのセンター街の京町筋のお店が再開して、2Fはファッション通りと約一五〇店がお目見得したので。赤い手すりのエスカレーターをあがると鏡のひろばは、EXPOを想

★ブティック

イリ

センタープラザ1F
☎ 332-2878

ファッションの秋にふさわしくトータルなブレタを神戸のハイなセリンスでコレクション。ニユートラルなあなたのお好みにぴったり。



★事務と暮らしを豊かにする

ナガサワ

文具センター

センタープラザ1F ☎ 321-3333
さんちか店 ☎ 391-4713

24時間オープンのウインドウディスプレイは趣好をこらして楽しく、舶来文具品が話題の豊富な品揃えです。



★高級婦人服地とお誂え

ミヤムラ

センタープラザ1F
☎ 331-7237
本店元町3 ☎ 331-3217

デシン風のシルク、ギャバ、ジョーゼットetc秋冬ものの新着服地がヤングからミセス迄幅広く豊富に品揃え。お誂えもどうぞ。



★舶来オリジナルボタン アクセサリー・洋装材料

マルタイ

三宮京町筋
☎ 382-1358

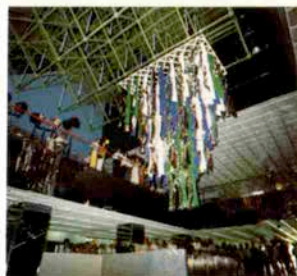
はつとするほどフレッシュさを感じるファッションポイント。マルタイのバラエティに富んだ新しい構成です。





（左）と西京子さん
ショッピングレディは西住和子さん

変って行くようです。
「ヘンタープラザ」の話
題は、やはりファッショ
ンストアの多いこと。東
京色も強いなかに、神戸
らしさを大切にしたいお店
もあって、この秋のおし
やれレディの心をときめ
かせそう。あなたも新
しいKOBЕを探検して
みてはいかが。



いだすきらびやかさ。サ
ンプラザと連なって、ま
たショッピングの流れが



★直輸入アクセサリ

タニゴ

センタープラザ2F
☎ 332-1710

直輸入のアクセサリ
は、世界各国の楽しい
おしやれなムードの品
ばかり。秋にさががけ
たあなたのチャーミン
グなポイントづくりを。



★舶来品アクセサリ
ハンドバック

ミラノ

センタープラザ2F
☎ 331-6689

ミラノ（伊）のボゾル
ト製のネックレスや
サンローラン、テス
テイのハンドバック
等舶来国産のしやれ
たセンスがいっぱい。

★喫茶とクレープ（ケ
GHEZ シエ・
GRÈPE クレープ

センタープラザB1F
☎ 332-2751

藤田嗣治の絵があ
るシエ・クレープは
神戸で初めてのクレ
ープのお店。パリの
街角で焼いてるあの
味ネ。クレープ・シエ・藤田ワシ
ン



★ブティック
●ア・モア **à Moi**

センタープラザ2F
☎ 332-2690

ロングドレスにロ
ングスカートなどお
色直し、パーティ着
と、オリジナル・ラ
ウンジウェアの専門
店です。
ビヤウロ口は姉妹店シ



秋の夜 なにげない語らい 吟味されたメニュー おしゃれなスペース



神戸市生田区中山手1丁目24ノ7
TEL 078 (241) 0980・(242)1925
大和ナイトブラザBF
PM 6:00-PM 12:00





小集会、誕生祝などのパーティーなどにご利用下さい。

ちくせんミュージックタイム

藤沢先生によるピアノの弾き語り 6:00pm~8:00pm 0:00am~2:00am

神戸のター坊による演歌熱唱 8:00pm~0:00am



スナックちくせん

生田区中山手通 1 丁目85(東門筋)中島ビル 4 F ☎331-3131

近藤正実・岩本文夫



スナック

ケン&ケン

生田区中山手通1丁目105

ダーバンビル地階

☎ 332-2366



DRINKING IS AN ART OF LIFE 生田区中山手通1丁目32

WOODHOUSE

山内ビル

☎ 241-7320

KOBE DRINKING GUIDE

山崎
ステーキハウス

生田区中山手通1丁目

前川ビル1F

☎ 391-3335



Snack Joyful

生田区中山手通1丁目74

三角ビル地下1階

☎ 332-1866



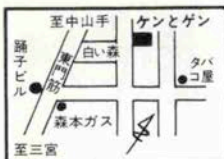
スナック“ケンとゲン”は、雰囲気よさと、ボトルが低料金でキープできることで早くも神戸っ子たちの間で噂がもちきりです。しかもママはモデル出身の美人なのだから、神戸の夜にまたひとつ“名花”が咲いたことになります。

ボトルキープ

リザーブ(レギュラー)——	¥ 4,800
カティースーク——	¥ 5,500
ホワイトホース——	¥ 5,500
ピンチ——	¥ 13,000
レミーマーティン——	¥ 15,000

他にお好みに応じて各種料理もあります。

6:00P.M. ~ 2:00A.M. 年中無休



ケンとゲン
でんわ **332-2366**



ヤマサキ

★秋の気配の感じられる季節になりました。さわやかな秋はまたステーキのおいしい季節です。ステーキハウス“山崎”へいらっしゃいませなか。最上級の神戸肉と新鮮な生野菜をご賞味下さい。きっとご満足いただけるでしょう。また、落ち着いた雰囲気、それに、各種のワインも揃っていますので、ゆっくりとお食事を楽しんでいただけます。30名ほどのパーティーの予約も承っています。家族づれ、友達同士、グループなどの会合にぜひご利用下さい。

☆最上級神戸肉ステーキ¥5,000 サーロインステーキ¥3,000 テンダーロインステーキ¥3,000 車海老のバター焼き、アワビのバター焼き。ビール¥300 ボトル(OLD)¥5,000 ボトル(ホワイトホース)、ボトル(カティースーク)各¥7,000

5:00P.M. ~ 2:00A.M. 日曜日休み

★ビキニのあとがくっきり残った今年の夏も9月の声をきくと思ひ出しでなつかしい今日この頃、秋ですね……。

今回から神戸っ子の誌上で“ウッドハウス”のメンバー紹介をさせていただきます。その第1弾は……本名、平尾仁(ひらおひとし)24歳。通称デコちゃん。“ウッドハウス”で唯一の独身者。75年度後半は彼のためにあるほど乗りに乗っているにくい奴。“ウッドハウス”で目下女性支持率人気ナンバーワン(自称)。趣味といえば覚えてたのマージョン、ツモリいっばつのデコちゃんと異名をもつこわい奴。とはいっても……“ウッドハウス”におこしの節はジックリ顔を見てやって下さい。そんな奴には見えません。ただニヤニヤするかわい男。

デコちゃんをよろしくお願いします。

☆営業時間のお知らせ。平日/5:00P.M. ~ 2:00A.M. 日曜/6:00P.M. ~ 0:00A.M. 年中無休

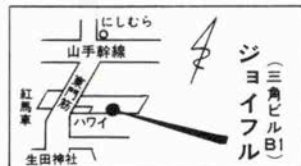
ビール(小)¥300 水割り(オールド)¥400 フィズ¥500 おつまみ¥100 スパゲティ¥400 ピラフ¥400 ほか。

ウッドハウス



KOBE DRINKING GUIDE

ジョイフル



“Have a JOYFUL time!”

この3月オープンした“ジョイフル”も早や半年、皆様に可愛がられてやっと大人の仲間入りといったところです。ママをはじめ、女の子たちもまだ初々しさ(一見?)が残っていて、とても新鮮です。

小さなお店だが、夜の優しい言葉? 可愛い笑顔、落ち着いて飲むには最高だ。

夏のオレンジ色のハートを、クールなフィリングで酔いしれてみませんか。ヤングからミドルエイジまで気軽に来ています。

ボトルキープ/リザーブ、カティースーク、ホワイトホース各¥8,000
6:00P.M. ~ 1:00A.M. 日曜日休み